

令和元年12月5日（木）

小学部がわくわくタイムで「ボール落とし鬼」  
をしていました。



一人一つずつ片手でボールを持ち、落とさないように気をつけながら、友達のボールを叩き落とすゲームです。ボールを落としたらアウト。ボールをコントロールしながら周囲を見る力を育てることが目的だそうです。途中で先生が、狙っている相手を見ている時は、自分の周囲に注意が向いていないので、後ろから叩くと効果的だと助言していました。

本校の子どもたちは、手話で会話をします。廊下を歩きながら友達と楽しそうに会話しているのですが、すれ違う時に挨拶をしても気付かずに通り過ぎることがよくあります。もしこれが道路だったらとか、将来、職場で上司や同僚にすれ違った時だったら・・・と考えてしまいます。手話で会話を楽しみながらも、目の前の相手だけでなく、周囲に注意を払う練習にもなるいいゲームだなと思いました。